

東京混声合唱団第227回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

2012年3月22日(木) 19:00開演(18:30開場)

東京文化会館小ホール



指揮 田中信昭

Conductor : TANAKA Nobuaki

ピアノ 中嶋 香

Piano : NAKAJIMA Kaori



TANAKA Nobuaki

■三宅 悠太：作曲

MIYAKE Yuta (1983-)

—長田弘の詩とヴォカリーズによる—

析る (2011)

■鈴木 純明：作曲

SUZUKI Jummei (1970-)

オマール・ハイヤーム：詩／小川亮作：訳

手紙：ウォルフガング・アマデウス・モーツアルト、フランツ・リスト、クロード・ドビュッシー／石川亮子：抄訳

混声合唱とピアノのための

恋するルバイヤート (2011)

1.ハイヤームの四行詩

2.モーツアルトの手紙

3.リストの手紙

4.ドビュッシーの手紙

5.ハイヤームの四行詩

■野平 一郎：作曲

NODAIRA Ichiro (1953-)

混声合唱のための

フランスの7つの詩 (2009-2010)

1.バラード (ギヨーム・ド・マシュー：詩)

2.素晴らしい不具 (ルネ・シャルル：詩)

3.神々と死 (ルネ・シャルル：詩)

4.戦闘 (フィリップ=トンマージ・マリネット：詩)

5.廃墟の鳥 (イヴ・ボンヌフォワ：詩)

6.踊り子 (ジャン・コクトー：詩)

7.戦争を駁するバラード (ウスター・デシャン：詩)

主 催 (財)合唱音楽振興会 Association for Promoting Choral Music

入場料 (税込み・全自由席) 一般券 4,000円 学生券 2,000円

[前売り・問い合わせ]

東京混声合唱団事務局 〒160-0005 新宿区愛住町23番地 ベルックス新宿ビルⅡ 6F

TEL : 03(3226)9755 FAX : 03(3226)9882 <http://homepage3.nifty.com/TOUKON/>

チケットぴあ TEL : 0570(02)9999(Pコード 155-571)

CN プレイガイド TEL : 0570(08)9990

ローソンチケット TEL : 0570(000)407(Lコード 36737)

東京文化会館チケットサービス TEL : 03(5685)0650

東京コンサーツ <http://www.tokyo-concerts.co.jp/>

(東京コンサーツ HP で予約をして、セブンイレブンで支払い、受け取りができます。)

合唱
—
新しい道は

Design—OBATA Ken

東京混声合唱団 第227回定期演奏会

TOKYO PHILHARMONIC CHOIR

主催
(財)合唱音楽振興会

■田中信昭 TANAKA Nobuaki (指揮)

1956年東京芸術大学を卒業と同時に声楽科有志と東京混声合唱団を創立、常任指揮者に就任。今まで、作曲家と協力して新しい日本の合唱音楽の創造に力を尽くし、東混定期などで、400曲に及ぶ現代合唱曲を初演している。1997年桂冠指揮者の称号を贈られる。2007年音楽監督、理事長に就任。

カラヤン：ベルリンフィル、サヴァリッシュ：フィラデルフィア管弦楽団、シノーポリ：フィルハーモニア管弦楽団、マタチッチ：NHK交響楽団ほか数多くのオーケストラ公演の合唱指揮をつとめる。

オペラの指揮も多く手がけ、モンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」などの三作品、ブリテン「カーリュー・リヴァー」などの教会三部作ほか、数多くの日本のオペラの初演を指揮している。1982年イースラエル FESTIVAL にて間宮芳生「昔嘶人買太郎兵衛」を指揮。

1986年毎日芸術賞受賞。1987年の文化庁派遣東混アメリカ公演では、日本の現代音楽を演奏、ニューヨークほか七大都市で成功をおさめた。

WORLD YOUTH CHOIR '97 JAPAN、WYC '99-00 WINTER BELGIUM、WYC 20th anniversary SWEDEN ('09)、ASIA YOUTH CHOR '98・'04 NIIGATA を指揮。

1996年世界合唱シンポジウム SYDNEY、1999年世界合唱シンポジウム ROTTERDAM、2005年世界合唱シンポジウム KYOTO にて講演。

東京芸術大学講師（1971-1995年）、桐朋学園大学客員教授（1987-1997年）を歴任。2008年より国立音楽大学招聘教授を勤める。

2000年、勲四等瑞宝章受章。

2006年、朝日現代音楽賞受賞。

2010年、エクソンモービル音楽賞・洋楽部門本賞受賞。

■中嶋 香 NAKAJIMA Kaori (ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。現代作品をレパートリーとして演奏活動を展開している。87年に始めた東京でのリサイタルは35回を数え、2006年はボローニャで、2007年にはクレモナでもリサイタルを行う。89年から作品の委嘱活動を続け、故柴田南雄、間宮芳生、一柳慧、三善晃、高橋悠治、野平一郎など内外の作曲家への委嘱作品が、これまでに39作品に及ぶ。2004年権代敦彦ピアノ作品6曲を収録した2枚組CD『きらめく光のとき－祈り－』、2009年間宮芳生ピアノ作品収録CD『PIANO PASTOSO』、2010年『－世界のこどもたちへ－間宮芳生・ピアノの部屋』をALMrecordsよりリリース。東京混声合唱団をはじめとする全国各地の合唱団とも共演を重ねている。演奏活動以外にも「新しいうたを創る会」（詩人・作曲家に＜現代のうた＞を創作委嘱する全国組織）や「創る会」（合唱作品を委嘱初演する組織）のプロデュースを手がけている。2004年2月、第22回中島健蔵音楽賞受賞。



■三宅悠太 MIYAKE Yuta (作曲)

1983年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科をアカンサス音楽賞および同声会賞を受賞して卒業後、同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。2001年国土交通省 CM 音楽公募において優秀賞受賞、翌年 TV・ラジオ放送。2005年第16回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位入賞。2010年第79回日本音楽コンクール作曲部門（オーケストラ作品）第1位入賞、併せて岩谷賞（聴衆賞）および明治安田賞受賞。これまでに作曲を浦田健次郎、塚本一実、小山薫、土田英介、野平一郎の各氏に師事。現在、東京藝術大学および聖心女子大学各助手。都立芸術高等学校非常勤講師。

■鈴木純明 SUZUKI Jumpei (作曲)

1970年東京生まれ。東京藝術大学大学院修了。パリ国立高等音楽院作曲科、管弦楽法科で学ぶ。文化庁派遣芸術家在外研修員（1999年～2001年）、フランス国立音響音楽研究所（IRCAM）研修員（2002年～2003年）。第64回日本音楽コンクール、第18回日本交響楽振興財団作曲賞、ガウデアムス国際音楽週間'99、第31回ブルジュ国際電子音楽コンクール等に入選。「ザグレブ現代音楽ビエンナーレ」、「Résonance 2003 (パリ)」、「モンテカルロ芸術の春」、「Música para el Tercer Milenio (マドリッド)」等の音楽祭で作品が初演、再演されている。作曲を宍戸陸郎、原博、野田暉行、一柳慧、廣瀬量平、野平一郎、Gérard Grisey、Marco Stroppa、Philippe Leroux の各氏に師事。現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学院大学、東京音楽大学、東京藝術大学各講師。

■野平一郎 NODAIRA Ichiro (作曲)

1953年生。東京芸術大学、及び同大学院修士課程作曲科修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲を間宮芳生、永富正之、ペツツィー・ジョラス、セルジュ・ニグの各氏に、ピアノ及び伴奏法を村井貞子、堀江孝子、高良芳枝、アンリエット・ピュイグ＝ロジェの各女士に師事。

ピアニストとして、フランス国営放送フィルハーモニック、バーゼル放送交響楽団、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、ロンドンシンフォニエッタ、モスクワ室内アンサンブルや日本の主要オーケストラなどにソリストとして出演する一方、内外の名手と数多く共演している。作曲家として、フランス文化庁や、IRCAM 他から数多くの委嘱作品がある。第13回中島健蔵音楽賞（1995）、第46回芸術選奨文部大臣新人賞（1995）、第44回尾高賞（1996）、第11回京都音楽賞実践部門賞（1996）、第35回サントリー音楽賞（2004）、第55回芸術選奨文部科学大臣賞（2005）等を受賞。現在、静岡音楽館 AOI 芸術監督。